

9660

第五一第

保存期限
永久
決裁指定
局長
委任
決行指定

大臣		局長 主務		次官		政務 次官		件名		受領 番號	
委		局長		次官		政務 次官		將校者彙集解除ノ件		陸軍省受第一七三三號	
連 帶		主務 課長		高級 副官		參與官		起元應課名		留守第十九師團	
連 帶		主務 課員		主務 副官		書記官		審 案		審 記 者	
決行後		決行後		決行後		決行後		決行後		決行後	
局長		局長		局長		局長		局長		局長	
昭 和		昭 和		昭 和		昭 和		昭 和		昭 和	
年 二 月 三 十 七 日		年 二 月 三 十 七 日		年 二 月 三 十 七 日		年 二 月 三 十 七 日		年 二 月 三 十 七 日		年 二 月 三 十 七 日	
備 第 三 三 號		備 第 三 三 號		備 第 三 三 號		備 第 三 三 號		備 第 三 三 號		備 第 三 三 號	

政務次官 同付
決裁前後連帶
陸軍省
17.3.4
陸軍省
17.3.5
陸軍省
17.3.6

	陸軍省	陸軍省第十九師團長へ指令案	二月十六日附人高第八〇一號申請ノ照会可ス	陸軍省第五九四號	昭和七年三月廿七日							
--	-----	---------------	----------------------	----------	-----------	--	--	--	--	--	--	--

軍事機密

陸軍大臣東條英機殿

7.2.27

231

陸師令第八一號

將校召集解除ノ件申請

昭和十七年二月十六日

留守第十九師團長

陸軍大臣東條英機殿

陸軍大臣東條英機殿

左記ノ者別紙診断書ノ通服務ニ堪ハサルニ付
召集解除致度昭和十五年陸支機密第二五
四號第四十二條ニ據リ認可相成度

記

職	役種	官	氏名	摘要
歩隊第五聯隊補充隊附	豫備	少尉	茲卷美一	昭和十六年二月一任官 幹部候補生
砲兵第五聯隊補充隊附	野山	少尉	五十嵐亮一	同 右
同	同	見習官	瀧澤 軍平	昭十六、七特編ニ依リ 鷹呂

6660

原書ヲ受入
官房

特編	右	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十	要	シ ニ 五	サ ル ニ ナ	軍	231
----	---	--	---	-------------	------------------	---	-----

6660

原書ヲ受ハレシ
度
官房
号
備
録

秘

0001

陸軍

斷書

歩兵第七十五聯隊補充隊

陸軍少尉 萩 卷 美 一

右昭和十六年七月六日豊橋陸軍豫備士官學校ニ於テ罹患七月十四日
 豊橋陸軍病院入院七月十九日右濕性胸膜炎ニ決定十二月五日新發田
 陸軍病院轉入十二月十六日肺結核ニ轉症現今體格榮養共ニ中等度ニ
 身長一・六四二米、體重五四・四〇斤、胸圍〇・八四〇米（右肺尖
 部短音呼吸音斷續性右鎖骨下ニ小水泡性囉音アリ左胸部胸骨ニ沿ヒ
 呼吸音粗裂右背下部稍々短音呼吸音微弱左背部呼吸音一般ニ強シ胸
 部一エツクス線検査上兩側肺門淋巴腺腫脹著明右側葉間胸膜炎像ヲ
 認ム赤血球沈降速度中等價三八・〇粘（ウエスタークレン氏法）喀
 痰検査上結核菌ハ當初陽性アリシモ最近陰性、咳嗽、咯痰、食思不
 振等ノ症ヲ貽シ同後二ケ年間戦地及内地勤務ニ堪ヘサル者ト診斷ス

昭和十七年一月二十一日

主任 新發田陸軍病院附陸軍軍醫少佐 松本英夫

參坐 新發田陸軍病院及陸軍軍醫中佐 阿部彦作

右 齊登シ孔處適當ノ診斷ト認定ス

昭和拾七年 壹月卅日

留守第二師團軍醫部長 宮崎駿



陸軍

診 斷 書

山砲兵第二十五聯隊

隊附役陸軍少醫部見習士官 瀧澤軍平

右者昭和十六年十月九日朝鮮羅南ニ於テ罹病同年同月二十一日羅南
 陸軍病院ニ入院同年十一月八日右肺尖炎ニ決定、爾後轉送セラレ同
 年十一月二十七日新發田陸軍病院ニ轉入、同年十二月十一日兩肺浸
 潤ニ轉症、現今體格榮養中等度微熱出沒（最高三七・四度）右鎖骨
 上窩部短調、呼吸延長、右上肺部石肩胛部呼吸音粗變、胸部一エツ
 クス線検査上右肺門陰影増強右上肺域ニ結節性増殖性硬化性浸潤陰
 影交錯ス右胸痛、咳嗽痰等ノ諸症ヲ貽シ向後一ケ年戦地及内地勤務
 ニ堪ヘサル者ト診斷ス

昭和十七年一月十五日

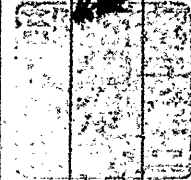
主任 新發田陸軍病院附陸軍軍醫中尉 佐藤 儀美
 診察 新發田陸軍病院長陸軍軍醫中佐 阿部 彦作



右審査シテ充處適當ノ診断ト認定ス

昭和拾七年壹月廿八日

留守第二師團軍醫部長宮崎駿雄



診 斷 書

山砲兵第二十五聯隊補充隊

陸軍少尉 五十嵐 亮 一

右昭和十六年十月九日朝鮮羅南ニ於テ肺結核ニ罹リ十月九日羅南陸軍病院入院爾後還送セラレ十一月一日新發田陸軍病院轉入現今體格榮養共ニ中等度（身長一・七二四米、體重六〇・二〇疋、胸圍〇・八三米）胸部左胸前部鼓濁音小水泡性囉音聽取左背下部打診上異常ナキモ呼吸音稍々減弱胸部「エツクス線検査上右肺門淋巴腺腫脹左上中肺野肺門部増殖性陰影ヲ認ム赤血球沈降速度七二・五疋（ウエスタークレン氏法）喀痰檢鏡上結核菌陽性（ガフキー氏表第二號程度）喀痰、食思不振等ノ症ヲ貽シ向後二ケ年間戰地及内地勤務ニ堪ヘサル者ト診斷ス

昭和十七年一月二十一日

主任 新發田陸軍病院附陸軍軍醫少佐 松本 英夫

陸 軍

參坐 新發田陸軍病院院長陸軍軍醫中佐阿部 彦作

右塞查シタル處適當ノ診断ト認定ス

昭和拾七年壹月廿日

留守第二師團軍醫部長宮崎 駿雄

